

## 令和6年度 とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	台東区立根岸幼稚園
所在地	台東区根岸3-9-7

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子供たちの興味関心、園の特色など)

自園は園庭が無い。隣接する公園と小学校の校庭で遊んでいる。しかし、農園を持っていて、ピワや柿の木をもっている。野菜を育て収穫することもできる。だが、日当たりや気候や、害獣などによる影響を多大に受け、必ず成功するわけではない。そんな中でも一生懸命野菜や花を育てている。毎年、講師の先生をお呼びして、近隣の公園の散策を実践している。また収穫したものを調理して食べることを通して、収穫から、食べることまでの巡りを感じたり、喜びや楽しみを共有したりしている。必ず一つのサイクルができるわけでもないが、体験として様々なことに挑戦している。

### 2. 活動スケジュール

- ・農園やピロティーでの栽培活動。
- ・遠足や自然教室などの課外体験。
- ・収穫物を利用したランチデー（調理して、食べる）

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・栽培に必要な土、苗。
- ・調理に必要な道具。

### 4. 探究活動の実績

<活動の内容>

- ・ピワや柿を収穫する。
- ・夏野菜を植えて、育てて、収穫する。
- ・近隣公園での自然教室。
- ・御苑へのバス遠足や芋ほり遠足。
- ・ランチデー（調理して食べる活動）

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

- ・身近に土に触れる場所も機会もなく、幼稚園に入園して初めて土いじりをする幼児もいる。本来土に触ることは子供が好きな活動であり、自分が植えたものが育って身がなり、食べることができるという楽しさと喜びはひとしおである。しかし、なかなかうまくいくことばかりではなく、失敗の繰り返しである。
- ・芋ほりで掘ってきた芋を使って、他の食材は近くのスーパーまで買いに行き、自分たちでカレーを作った。それを全学年で集まって食べた。コロナ後初めて大人数で食べた。

<活動の様子>



5. 振り返り

(振り返りによって得た保育者の気づき)

- ・自然はいつでもどこでも経験できる、子供が最も関心を寄せているものではあるが、保育者の気持ちが緩んでいるとよい時を逃してしまうことも多い。子供が関心を寄せるのは新しいものではなく、自分が今まで経験してきたことを再現しようとしたり、試したり、することで広がっていくことが多いと感じた。
- ・自然は見たたり触れたりするだけにとどまらず、例えば拾ってきたもので構成して遊んだり、収穫したものを絵に描いたり、作ったり、調理して食べたりと様々な方法で味わうことができると改めて感じた。

以上